

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	安全計画小委員会		主 査 名：土屋 伸一 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)		委員長名：清家 剛 主 査 名：日色 真帆
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、建築の新しい形態や使われ方、また関連技術の進歩にともなって発生する危険要因を抽出し、それに対応した建築の安全計画の考え方と計画方法を提案することによって、合理的で効果的な建築の安全性を実現することを目的とする。今期は特に、近年需要が高まっているスタジアムやアリーナなどの大規模集客・イベント施設における群集安全設計のあり方について議論し、これらの施設の群集安全設計に関する設計参考図書の発刊を目標とする。加え、前期に作成した建築物の火災安全設計メニューの普及と更新の活動を合わせて行う。</p> <p>初年度：スタジアム・アリーナ既往事例の収集、海外の基準書の参照、指針・参考図書の構成案作成</p> <p>2 年度（本年度）：上記、原稿執筆</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：土屋伸一（明野設備研究所） 幹事：峯岸良和（建築研究所） 委員：井戸和彦（清水建設）、今西美音子（竹中工務店）、河合邦治（東海旅客鉄道）、北嶋秀明（ETRA 環境技術研究所）、桑名秀明（鹿島建設）、古瀬敏（静岡文化芸術大学）、添川光雄（森ビル）、水落秀木（清水建設）、林広明（大成建設）、村井裕樹（日本福祉大学）、吉野揃津子（大林組）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2023 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s6/	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	第 25 回安全計画シンポジウム 「建築計画の視点から、今改めて群集安全を考える」 参加者数 67 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	大阪市北区放火火災を受け、防火委員会との共同による「小規模雑居ビルの放火火災に対する安全計画 特別調査委員会」において、前年度取りまとめた速報版の報告書を更新し、次年度でのシンポジウム等を通じた公表を予定している。前期に作成した建築物の火災安全設計メニューの提案も収録される見込みである。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	近年建設されたスタジアム・アリーナ、初詣や花火大会、ハロウィンなどのマスイベント、その他、様々な群集・人流制御に関する取り組みの情報収集・視察を行えた。参考図書の作成については、情報が増えたことにより、当初の構想軌道修正を行っている。一方でここまでの委員会での議論の内容の公表として、外部の講演者を招いたうえでのシンポジウムを企画し、近日中に実施するに至った。

委員会活動の問題点
・課題

新規委員の加入。委員会の設立やその後の経緯もあり、現状の委員の半数程度が防火・避難を専門とする方であるが、社会の変容に伴い、考慮すべき安全も変わってきていると認識している。広く建築・人間の安全に興味のある方に加入を頂けるようにしたい。現在のテーマを群集安全としているのは、火災・避難でない建築・人間の安全の議論をしたいという趣旨でもある。現在企画しているシンポジウムも多くの方に参加申し込みを頂ており、これをよい契機としたい。